

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスぶるめりあ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 17日		～ 2025年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2025年 2月 17日		～ 2025年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 26日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	SST、学習、運動、イベントと言う4つの柱となる療育を駆使して、利用者様が困っていることをほとんど網羅したケアを行っている。	勉強の部屋と遊びの部屋を完全に分けて、行動のメリハリがつきやすくしている。 職員を流動的に配置し、事業所の決まったやり方ではなく、個人の事情に合わせたスケジュールで行動できるように工夫しながらサポートしている。	1日の利用人数が増えると瞬時の判断が難しくなるので、職員が増えたら、全員が流動するのではなく、流動して部屋を行き来する職員のほかに担当として部屋固定する職員を設けるなど工夫していく。
2	人生経験を積んだ職員が多く、特に生き方や相手に対する心遣いなどを明確に教えることができる。	アドバイスをを行う時、改善の方法を教えることはもちろんだが、その理由やその行動の先に未来や希望も明確に伝えるように指導している。	まだ、完全に職員に浸透しているわけではないので、今後も繰り返し教育を行い、実行できるようにしていく。特に新人職員が入ってきているので、利用者様に対する考え方などもしっかり教えていく。
3	学習支援を行っている。	学習支援を目的とした利用者が多く、学習習慣の定着や学習の遅れが課題となっている。そのため、繰り返し対応を行い、成功体験を積めるようにしている。特に、まったく学習せずに帰ることがないよう徹底している。	まずは現状の勉強習慣の定着を徹底。その後は集中時間を徐々に伸ばしていき学習量が現状より増えるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様や外部(近隣、関係各所)から認知されていない部分が多い。	保護者様や外部に対してのアピール不足。	人員が増えてきたら、もっとスムーズな広報活動のシステムを考えて実行していきたい。
2	人員不足。	人員を追加雇用できる利用者数に達していなかった。	利用者が増えきたので、現在採用活動中。現時点で保育士とドライバーを1名ずつ雇用した。
3	職員の能力にムラがある。	まだ職員教育が完全に行き届いていないので、療育や接客中にその職員の苦手な部分が如実に表れてしまう時があり、場合によっては保護者様から誤解を招いてしまったこともあった。	職員教育を順次強化していくことももちろんではあるが、まずは利用者様への療育、送迎時の対応や保護者様とのやり取りを今後も丁寧に行い理解を得ることで、信頼関係の構築していく必要がある。